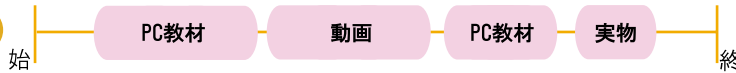


同時進行型



岡崎市立羽根小学校  
関久美子

実践テーマ

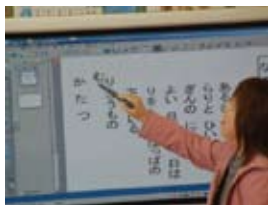
電子黒板を操作することで、提示した文字を組み替えてわかりやすく示す。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 展開：・電子黒板に本時の活動を見通す詩を提示し、マスキング機能※を使って一行ずつ見せていく。  
 (視点を明確にする) 電子黒板で示した詩の文字を移動させて並べ替え、アクロスティック(折句)の意味を理解させる。(理解を助ける)
- ・かたつむりの動きをクリップ動画で提示することで、言葉から受け取るイメージを明確にして共有する。(本文の理解を深める)
  - ・電子黒板を使って、提示した詩の中へ朗読するポイントをペンで書き込み、気持ちを込めて朗読できるようにする。(視点を明確にする)
  - ・菊の花や茎などをUSBカメラを利用して拡大して提示し、普段気付かないことに気付かせる。(新たな視点を与える)

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・なぞなぞに答える。(前時の想起)	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なぞなぞ」の詩を提示する(PC教材)。</li> <li>・詩の一行一行から分かることを考える。</li> <li>・かたつむりの動きをクリップ映像(動画)で確認し、言葉の意味を確かめる。</li> <li>・気持ちを込めて、詩を朗読する。</li> <li>・菊を拡大(実物)して見る。</li> <li>・感じたことをもとに、「き」と「く」で始まる文を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自作PC教材</li> <li>●動画クリップ</li> <li>●実物(菊の花)</li> </ul>
まとめ	・次時の活動を知る。(次時の予告)	



マスキング機能を使って、詩を一行ごとに提示できるようにし、考えさせる視点を明確にするかたつむりの動きを具体的に示す



実物の菊をUSBカメラで拡大して見せ、普段気付かないことに気付かせる

児童の反応・効果

- ・電子黒板で文字を移動させることで、アクロスティックの仕組みをしっかりと理解させることができた。マスキング機能によって、視点を明確に示すことができた。
- ・それぞれの違うイメージで語っていた言葉を、共通した映像で確かめることによって、共通のイメージをもたせることができた。
- ・拡大した映像を提示することで、普段は気付かないことを発見することができた。

活用のポイント

- ・電子黒板を児童に操作させ、考えさせることで、理解がさらに深まる。
- ・言葉を映像で提示することで具体的なイメージを明確にもたせることができるが、映像の印象が強いために、個々の子どもらしいイメージや発想を壊さないようにする配慮が必要である。

※マスキング機能とは、画面の一部を隠し、部分的に提示する機能。表示する動きや見せ方によってブラインド、スクリーンシェードなどとも言う。